

# べっふ 市議会だより

2019.5.1

No.144



「任期最後の定例会」の様子

## CONTENTS

- P 2 平成31年度当初予算の概要
- P 3 予算決算特別委員会(平成31年度予算審査)
- P 4 議決結果
- P 5 議案質疑(プレミアム付商品券発行事業について、べっふ未来共創基金について)
- P6~11 一般質問(14名が市政を問う)
- P12 別府市議会政策研究会活動報告、編集後記

## 平成31年度 当初予算(骨格予算)

一般会計 495億1000万円(前年度比 0.6%減)

特別会計 533億1100万円(前年度比 0.2%増)

「持続可能な財政運営」を図るため、

## 第4次行政改革推進計画の

## 着実な推進を求める

平成31年第1回定例会は2月27日から3月20日までの22日間にわたり開催されました。今定例会では、市長提出議案38件、議員提出議案2件の計40件について議決を行いました。

会期中の3月12日から14日までは、予算決算特別委員会を開催し、予算審査を実施しました。平成31年度当初予算は4月に統一地方選挙を控えているため、ラグビーワールドカップ関連事業、入湯税超過課税分を財源にした観光振興事業、市民生活に欠かせない事業など、年度当初から執行が必要となる予算のみを計上した「骨格予算」が編成されました。平成29年度決算認定審査意見書で実施を求め

た「持続可能な財政運営」に向けて、少子高齢化の進展により増加する社会保障関係費、公共施設の老朽化対策等の財政需要が見込まれるが、昨年度策定した第4次行政改革推進計画に職員一丸となつて取り組んでいくとの説明がありました。これに対し、委員から、第4次行政改革推進計画で掲げる事務事業の見直しや財源の確保などをしっかりと進めていくことが重要であり、計画の着実な推進を求めるとの意見がなされました。なお、採決においては、一部の議員から反対の意思が示された議案もありましたが、採決の結果、全ての議案について、原案のとおり可決等されました。

## 当初予算における重点事業

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

## ラグビーワールドカップ2019開催等事業 …… 2億3343万円

代表チームキャンプ中の会場運営、ウェイトトレーニング施設整備や機運醸成・おもてなし事業等を実施します。

## 入湯税超過課税分活用事業 …… 1億5751万円

入湯税超過課税分を活用し、駅前情報発信cafeの運営など観光客に対する施策(観光振興事業)や温泉資源量調査など温泉資源の保護・確保に資する施策(温泉資源保護事業)を実施します。

## ひとまもり・おでかけ支援事業 …… 2843万円

70歳以上の高齢者を対象として、2,000円分のバス回数券購入費用に対し、1,000円の助成を行います。

## 図書館等一体的整備事業 …… 2859万円

別府公園文化ゾーンで施工予定の図書館等一体的整備にあたり、基本計画を策定します。

## 南部振興(旧南小学校跡地整備)事業 …… 5155万円

旧南小学校跡地の解体・造成工事を実施し、敷地の一部を住宅用地として売却します。

## 保育所入所事業 …… 31億6870万円

私立保育園や認定子ども園の定員増を図り、仕事と子育ての両立を支援します。

## 放課後児童クラブ事業 …… 2億7934万円

放課後児童クラブを6カ所(合計36クラブ)増設し、受け入れ体制を強化します。

## 予算決算特別委員会

(平成31年度予算審査)

予算審査と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、平成31年度の当初予算について、慎重な審査を実施しました。主な内容は次のとおりです。

### 1 歳入について

市税は、税率改正に伴い、入湯税が大幅に増収となることや固定資産税、個人市民税の増収により、前年度比、約6億2000万円、4・6%の増加となる見込みである。これは、インバウンドを含め、観光客数が増えるなど、本市の観光業が堅調に推移している証であり、評価する。もう一つの自主財源である寄附金は、ふるさと納税制度において、総務省の通知により、公正な競争環境となることから、

今後は自治体のアイデア、工夫によって、その成果が期待できる。よって、前年度並みの予算ではなく、上方修正となることを期待する。

### 2 歳出について

マイナスイノベーション等の方法により、余剰額を削減していくこと、事業精度を上げていくことなどをし、効果的な予算配分に努め、効率的な予算執行を求める。特に予算の52・5%を占める民生費は、法令に定めがある社会保障関係費が中

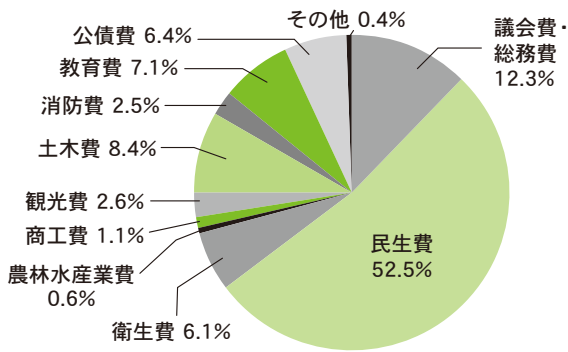
心となっており、抑制については難しい面もある。しかし、おでかけ支援事業やみんなのタクシー事業など、高齢者向けの事業が拡大していくなかで、新規事業の財源を確保するにあたっては、事業の見直しや廃止、いわゆるスクラップ&ビルドの実施を要望する。「福祉」という名目のもと、聖域化することは避け、歳出全体を抑制する取り組みの中で、福祉施策、民生費においても検査・検証を行うことを求める。

また、「図書館等一体的整備」や「学校給食共同調理場」の整備といった大型事業の実施に関しては、民間活力などを最大限に活用するとともに、有利な補助金や地方債制度、また、これらの財政負担に備えて設置している基金により財源措置を行うことで、全体の財政収支に影響を及ぼさない財政運営を求める。

さらに、高額な補助金の交付については、補助目的に則した事業執行の確保や支給団体の自主性を育成するため、監査等により指導を行うことを求める。

公債費については、元金利息の総額だけでなく、市債の借り入れ時と同じように事業ごとの内訳を示すなど、詳細・丁寧な説明を求める。

### 歳出予算額構成比 (一般会計)



## 第4次 別府市行政改革 推進計画の概要

「べっぶの未来を創る持続可能な行財政運営の推進」を基本方針とし、量的かつ質的改革を推進する。

### 計画期間

2018～22年度

### 目標効果額(5箇年累積額)

25億円

質の高い行政サービスを維持し、新たな財政課題に挑戦するために掲げた財政目標である「基金残高50億円」を堅持するため、必要な財源を確保する。

### 重要課題

1. 行政サービスの向上
2. 市民との協働・地域力の強化
3. 公共施設マネジメントの推進
4. 持続可能な財政運営
5. 効率的な行政運営
6. 人材の育成

### 第1回定例会における議案等の審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第1号	平成30年度別府市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)	議第22号	別府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第2号	平成30年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第23号	別府市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	
議第3号	平成30年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第3号)		議第24号	別府市部落差別等をなくし人権を擁護する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
議第4号	平成30年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)		議第25号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について(市営朝日原住宅Aの廃止)	原案可決 (全会一致)
議第5号	平成30年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		議第26号	別府市布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	
議第6号	平成30年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		議第27号	市有地の貸付けについて(社会福祉法人天神福祉会)	
議第7号	平成30年度別府市水道事業会計補正予算(第1号)		議第28号	市有地の貸付けについて(社会福祉法人栄光園)	
議第8号	平成31年度別府市一般会計予算	議第29号	市有地の貸付けについて(社会福祉法人ソシネット)		
議第9号	平成31年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	議第30号	市有地の貸付けについて(学校法人別府大学)		
議第10号	平成31年度別府市競輪事業特別会計予算	議第31号	市有地の貸付けについて(社会福祉法人青葉会)		
議第11号	平成31年度別府市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決 (賛成多数)	議第32号	市有地の貸付けについて(学校法人溝部学園)	原案可決 (全会一致)
議第12号	平成31年度別府市公共下水道事業特別会計予算		議第33号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて(南立石財産管理委員会)	
議第13号	平成31年度別府市地方卸売市場事業特別会計予算		議第34号	旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて(扇山採草組合)	
議第14号	平成31年度別府市介護保険事業特別会計予算		議第35号	市道路線の認定及び廃止について	
議第15号	平成31年度別府市後期高齢者医療特別会計予算		議第36号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(小野 正春)	
議第16号	平成31年度別府市水道事業会計予算		議第37号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(徳田 貴美子)	
議第17号	別府市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について		議第38号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(神宮 千鶴)	
議第18号	べっぶ未来共創基金条例の制定について	原案可決 (賛成多数)	議員提出議案第1号	別府市における温泉資源の保護対策等に係る意見書	同意 (全会一致)
議第19号	別府市観光みらい創造基金条例の制定について		議員提出議案第2号	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書	
議第20号	別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について(朝日小学校湯山分校の廃止)		報告第1号	市長専決処分について	報告
議第21号	別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について(野口原総合運動場陸上競技場トラック部分の使用料の改定)	原案可決 (全会一致)			

### 賛否の分かれた議案等の賛否一覧表

議案等番号	件名	議決結果	会派・議員名																							
			自民・創生				新風べっぶ				公明党			市民クラブ		自民クラブ		志士の会・自民	日本共産党議員団	桃花善心の会						
			7人				5人				4人			3人		2人		2人	1人	1人						
			江藤彦彦	三ヶ尻正友	野口哲夫	国実久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部真一	山本一成	松川章三	野上泰生	森大輔	小野正明	堀本博行	市原隆生	荒井卓雄	穴井宏二	加藤信康	森山義治	三重忠昭	首藤正則	河野数生	松川峰生	黒木愛一郎	平野文活
議第8号	平成31年度別府市一般会計予算	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	平成31年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	べっぶ未来共創基金条例の制定について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	別府市部落差別等をなくし人権を擁護する条例の一部改正について	可決(多数)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により、採決に加われない議案は「除」

## 議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成30年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、3月4日に4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

### プレミアム付商品券 発行事業について

**問** 事業の概要は。

**答** 今年10月に予定される消費税率の引き上げに伴い、低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を発行します。購入対象者は住民税非課税者(ただし、住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護被保護者は対象外)や3歳未満の子が属する世帯の世帯主です。商品券は販売額2万円で、額面2万5千円の商品券で

す。なお、子育て世帯の購入上限は3歳未満の子の人数分まで購入できます。

**問** 対象者への周知方法は。

**答** 市報やホームページを活用し、広報に努めていきます。

**問** 購入方法は。

**答** 住民税非課税者は購入希望申請書を提出し、要件確認をした後、該当者に購入引換券を送付します。また、3歳未満の子が属する世帯の世帯主については、直接、引換券を送付します。そして、その引換券により、商品券の購入ができる仕組みとなります。なお、販売

開始は10月頃、使用期間は来年の3月までを検討しています。

商品券が利用できる店舗の公募についても、しっかり取り組んでほしい。

### べっぶ未来 共創基金について

**問** 基金を設置する目的は。

**答** 人口減少を克服し、地方創生を実現するため、平成27年度に「べっぶ未来共創戦略」を策定し、交付金の活用、事務事業の見直し等に取り組み、財源を確保してきました。しかし、これから本格的な実施段階に移行する施策や新たな課題などにより、一層の財政需要が見込まれます。戦略を着実に実行するため、新たに基金を設置することになりました。具体的には重点課題として位置づけられる「図書館等一体的整備事業」、「南部振興事業」

への活用を視野に基金を積み立て、財源を確保していきます。

**問** 現在の基金残高は。

**答** 平成30年度末の見込みは、「別府市ONSENツーリズム推進基金」が6億4000万円、3月補正予算で計上している「べっぶ未来共創基金」が5億3000万円です。なお、「別府市ONSENツーリズム推進基金」は年度末に「べっぶ未来共創基金」への編入を予定しており、合計11億7000万円となります。

**問** 「べっぶ未来共創基金」5億3000万円の原資は。

**答** 競輪事業収入1億円、別府商業高等学校跡地の土地売却収入4億3000万円です。

**問** 別府商業高等学校跡地は今後の公共施設の改修費の増加を見据えて、公共施設再編整備基金に充てるべきでは。

**答** 今後の公共施設の老朽化対策において、未利用資産から生じる収入を改修費の財源とする方針に変更はありません。しかし、今回は貴重な教育財産の売却で得た収入であり、子どもたちを含め、幅広い世代の方々に将来にわたり便益が及ぶ活用として、「図書館等一体的整備事業」の財源となる「べっぶ未来共創基金」へ積み立てることにしました。

廃止される「別府市ONSENツーリズム推進基金」は市街地の活性化、歴史的建造物等の保存と活用など、特定の目的のために設置された。今後の総合戦略の各施策の中において、このような取り組みの必要性が出てきた時はその経緯を踏まえて進めてほしい。



## 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。3月議会では14名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

### 旧南小学校跡地の計画について

自民・創生

萩野 忠好 議員



**問** 昨年の議会では旧南小学校跡地については、プロポーザルの募集をして、今年、発表するとなっていたが、その結果はどのようなになっているか。

**答** 公募型プロポーザル方式で優先交渉権者を決定し、現在、基本協定締結に向けて協議を行っています。

**問** 事業者の計画案の内容は、

**答** 市が提示した要求では、近隣の公共施設を複合化し、地域住民の健康増進と交流する広場や人の移住・定住につながる、良好な住宅地を形成することとしています。

**問** 別府市は3階建ての複合公共施設を建てる計画とあるが、それは事業者の提案する計画に含まれているか。

**答** 事業者の提案には、保育所、子育て支援センター、地域交流センターで構成する3階建て複合公共施設の建設が含まれています。

**問** 旧南小跡地の広さと市の考えのスペースの振り分けは、

**答** 事業者と本契約を締結するまで金額は確定していませんが、約6億3000

万円以下で整備する条件とし、複合施設の敷地は2000㎡、広場が多目的広場とメモリアル広場を併せて約6000㎡、住宅が6000㎡、都市計画道路の用地が10000㎡程度となっています。

**問** 個人住宅等が多いようだが、マンションの方が人口減少や少子化対策にならないか。新しい施設は皆さんが一堂に集まり、高齢者も喜ばれるようお願いしたい。

**答** 住民の皆さまが利用しやすいものになるような施設、例えば、エレベーターや各階の洋式トイレの設置等、事業者や関係各課と協議していきます。

### 雇用・公共施設・公民連携

新風べつぷ

野上 泰生 議員



**問** 別府市の主要産業であ

る観光・介護・建設等の事業者は働き手不足に悩んでいる。国はこれら業種について「特定技能」の制度の創設等での対応を進めている。別府市でも外国人材の活用等を含めた雇用問題の対策を行う専門人材の育成等による課題解決を図るべきではないか。

**答** BizLINK等を含め、専門人材の育成を行い、雇用問題の解決に積極的に取り組みます。

**問** 公共施設の保全を行うためには、財源の確保が必要である。公共施設再編整備基金の当面の残高目標はあるか。

**答** 公共施設再編整備基金の当面の残高目標は、18億円を最低限維持できることとします。

**問** 公園の一角を利用した公民連携事業(PPP)が進んでいます。PPPを成功させるには、民間提案事業の実現性や持続可能性、提案の意義も含めて適切に評価し、リスク分担を明確にして、良質な取り組みとな

ることを望む。提案の評価体制は。

**答** 提案の評価は、有識者、経営者、金融機関関係者らの専門性の高い選定委員会で評価されます。

**問** 公園という大切な公共空間を造る事業であり、注目度も高い。仮に提案された事業の全てが、選定委員会により、不十分だとの評価を受けた場合は、採択なしという可能性はあるか。

**答** 選定委員会の評価の結果、採択なしになる可能性はあります。

### 市民の健康を守る施策について

自民クラブ

首藤 正 議員



**問** 別府市民の平均寿命、健康寿命と死亡原因の上位は、

**答** 市民の平均寿命は男性

79・84歳で県下17位、女性86・64歳で県下15位です。健康寿命は男性78・27歳で県下16位、女性83・50歳で県下15位です。死亡原因はがん、心疾患、肺炎、脳血管疾患の順となっております。

**問** 温泉地であり、温泉利用により、長寿の市であると思っていたら、平均寿命も健康寿命も県下18市町村の中で下位にあることは大変問題ではないか。市民の健康を守る施策としてどのような体制をとっているのか。

**答** 健康に関する予算が各部各課に跨っているので、横の連携強化が必須です。さまざまな政策を複合的にやっていく中心的な役割を果たすため、組織体制の強化を実施し、不名誉を挽回し、市民が住み慣れた地域で活躍してもらえよう取り組みたいと思います。

**問** 四国の伊方原発が東日本大震災での福島第一原発災害事故と同程度の災害が発生した場合、別府市及び市民への影響はどうか。

**答** 伊方原子力発電所施設から30<sup>キ</sup>圏内の外にありませんが、万一の場合に備え、重点区域に準じて、必要な対策が取れる体制を整えています。伊方原発から約80<sup>キ</sup>距離がある別府市では、一過性の放射性プルームによる被ばくが考えられます。

**問** 一過性のプルームによる被ばくの可能性に対しての対応策はどのようなになっているのか。

**答** 緊急事態の状況に至った場合は、県が速やかに安定ヨウ素剤の服用ができる準備をします。

迅速に対応するため、備蓄について、県と協議、研究してほしい。



障がい福祉、新しい図書館について

日本共産党議員団  
ひらのの  
**平野 文活** 議員



**問** 65歳以上の障がい者には「介護保険優先」という原則が適用される。岡山市で介護保険の申請をしなかった障がい者に対して、それまで受けてきた障がい福祉サービスを打ち切ることが違法という判決が確定した。別府市で同じことがあれば、どう対応するか。

**答** 別府市においては、納得いただけるまで介護保険を申請するよう勧奨を繰り返すことになりました。申請勧奨を受け入れないことを理由に、直ちに障がい福祉サービスの給付を打ち切れることは極めて慎重でなければならぬと考えます。

**問** 新しい図書館づくりの取り組みは、3年前から始まっている。平成28年度の

基本構想づくりの中で、ワークショップが3回開かれ、学生中心に延べ1000人が参加した。また平成30年度の整備構想づくりの中で、オープンプラットフォーム会議が開かれ約160人が参加した。これ以外に広く市民の声を聞く機会が設けられたか。

**答** 特段ありません。

**問** 文科省が示している「公立図書館の望ましい基準」の中で「運営の基本の第一は職員の資質・能力の向上に留意すること」とある。新しい図書館の運営は直営か、委託か、また職員は正規か、非正規か。

**答** それらについては新年度の基本計画づくりの中で検討課題であり、現時点では結論は出ていません。



第3回議会の検証と観光戦略について

自民・創生  
あべ  
**安部 一郎** 議員



**問** 大分県と共同で行う別府市温泉資源量調査はどのような目的でこういった調査を行うのか。

**答** 今回の調査は、別府市の温泉資源量の現状を把握し、温泉の資源保護等に役立てることを目的に行うものです。別府市内の全ての源泉を対象に、調査内容としては、源泉温度、pH、湧出量、これらは計量的に簡易に測定ができる範囲のものであります。あとは、源泉所有者に、源泉の利用状況、噴気沸騰泉かそうでないか等についての聞き取りといったことを予定しています。

**問** 人の命に関わるような基準値を超える菌ができました。今後、さらに行政のチェック体制を強化する必要がありますか。

ると考えている。特に市営温泉の衛生管理策の徹底について、水質検査は業者でなく、市が行うべきではないかと思うがどのように考えているか。

**答** 市営温泉の水質検査については、今年度まで各市営温泉の指定管理者が検査機関に発注をしていましたが、平成31年度から別府市発注へ変更します。

**問** 何かあったら責任は業者でなく、行政、市長にあることを肝に銘じてほしい。

**環境を守るため、農業施策の充実を**

市民クラブ

加藤 信康 議員



**問** 市街化調整区域の農地が荒廃してきている。農地の環境を維持するための市独自の制度をさらに拡充検討すべきではないか。

**答** これまで農業振興地域以外に対しては「市街地周辺多面的機能保全交付金」のみでしたが、今年度からJAと協働出資している「別府市農業振興対策協議会」において、田植えと稲刈りの農作業の受委託に対して新規の助成を行っています。今後もJAなど関係機関と連携し、農業・農村の振興及び環境の維持保全のための施策を模索していきたいと考えます。

**問** 産業としての林業が低迷する中、これからの林業と市有林の役割をどう考えるか。

**答** 森林所有者が森林への関心が薄れている中、森林組合や素材生産業者等の林業事業者の育成が必要と考えます。施業森林の集約化や高性能林業機械の導入による生産費や管理費の低減を図り、林業の活性化に繋がりたいと考えます。また、市有林については、民有林の25%を占めている現状を踏まえ、大変重要な役割を担っています。東山・天間地区の市有林については木材生産を主とした経済林と

して、朝見から南立石、そして明礬にかけての市街地周辺に位置する市有林は水源のかん養や国土の保全として、また、九州横断道路沿いや志高湖周辺の国立公園内の市有林は観光地にふさわしい景観を主とした森づくりにも努めるなど、地区ごとに必要な森林の持つ多面的な機能が十分発揮できるように、適正な管理に努めたいと考えます。



**風疹の拡大防止の対策**

公明党

荒金 卓雄 議員



**問** 風疹が昨年の夏から全国的に感染が拡大している。その理由は何か。

**答** 圧倒的に男性が多く発症しています。年代では、男性では30〜40代に、女性では20〜30代が全体の6割を占めます。現在、39歳から56歳の男性は、これまでの予防接種制度の中で、風疹のワクチン接種の機会がなかった層になります。大分県内でも10〜40代の男性5名と10代の女性1名の発症が報告されています。

**問** 風疹感染による不安視される影響は何か。

**答** 妊娠20週頃までの女性がかかると、胎児が難聴、心疾患、白内障等を引き起こす先天性風疹症候群にかかる可能性があります。

**問** 感染拡大を防止する対策はどのようなものか。

**答** 現在、別府市では妊娠を希望する女性、妊婦及び妊娠を希望する女性の配偶者を対象に風疹任意予防接種の助成を行っています。国の新たな対策は、現在39歳〜56歳の男性を対象にして、平成31年度からの3年間で、抗体検査と予防接種を無料で実施することとし

ています。対象者にクーポン券を交付し、抗体検査を実施し、抗体価の低い方に予防接種を行う手順になっています。

**問** 対象の年齢の男性が、平日の日中に医療機関に行くのは容易ではないと思われる。夜間や休日の受診態勢や、市外県外に出張中も現地で受診できるように対応してほしい。

**答** 別府市では、国の制度化に従い、準備を進めているところです。必要な方しっかりと予防接種を受けてもらえるように、広報を含め、環境づくりに努めていきます。

**一校一園制について**

自民・創生

阿部 真一 議員



**問** 全国に誇れる制度として一校一園が保護者・教育



現場でも定着している。市立幼稚園の「一校一園制」の意義と実績を踏まえた上で、教育委員会としてどう考えているか。

**答** 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っており、幼児期から児童期まで一貫した教育を行ううえで、幼稚園と小学校が身近な存在であることは意味のあることです。しかし、少子化など、変化する社会情勢を見据えながら、中長期的視点で検討していく必要があると考えています。

**問** 地域にとって学校がどういう存在になるべきと考えているか、現在の施策を踏まえ、今後の展望は。

**答** この4年間の教育行政を振り返ってみますと、エアコンやトイレの設置など学校の教育環境や幼稚園の預かり保育等の子育て環境が着々と整備されてきました。また、コミュニティ・スクールを中心とした地域とともにある学校づくりを推進し、子どもたちが安全安心に学べる教育環境の充実

を目指してきました。これからは、変化する社会における学校や地域での課題、自然災害への対応などを考えますと、地域の学校は学校教育だけの場とするのではなく、「地域のみんなの公施設」として、新たな機能・役割を持たせ、活用することが必要であると考えます。これまで以上に、学校、家庭、地域が連携協働して、次世代を担う子どもたちを守り育てていく教育環境を作るとともに、子どもも大人も成長し、地域を活性化させる場となることが重要であると考えています。

共同調理場について

公明党

市原 隆生 議員



**問** 今年1月、長野市長が新しい図書館と美術館の建設構想を発表した。長年の懸案であった問題について方向性を示したところである。しかし、老朽化が進み、

3年前の地震でも少なからず被害を受け、一時給食の提供ができない期間もあつた共同調理場の建て替えについても喫緊の課題となっている。先日初めて、調理場の見学をしたが、大変に整理整頓されており、清潔感に溢れていた。現場の方たちが丁寧に仕事されているのだと感じたが、天井については、先の地震の被害の跡が見て取れ、大変に厳しいものを感じた。一日も早い建て替えが望まれるが、他の施設整備との兼ね合いもあるかと思う。現在、調理員の皆さんが丁寧に、衛生的に使っていることもあり、あと数年は使用できるようにも感じたが、築年数のことも考慮して、現場で働いている方の意見をよく聞いて、特に衛生面での問題点があれば速やかに対応し、安全でおいしい給食の提供を続けてほしいと思うがいかがか。

**答** 現調理場の衛生面等の問題点については、現場職員の声を反映し、改修・修繕を行っていきます。また、調理場の建て替えについては、現在、単独調理場も含

め、「学校給食施設のあり方検討委員会」において検討いただいております。結果を受け、方針を決定し、事業着手してまいります。



認められる国際都市別府

桃花善心の会

竹内 善浩 議員



**問** LGBT・SOGIに配慮した窓口対応は、的確にされていると聞く。市民課や人権同和教育啓発課では窓口レインボーフラッグを掲げている。これからの広がりをどのように考えて進めていくのか。

**答** 職員の理解がレインボーフラッグを立てる行動に繋がると考えます。より効果のある研修や方法について、関係課と協議し、人権研修に意欲的に取り組んでいきます。

**問** 国からは医療と介護の連携の重要性が示され、医療・ケアチームで本人・家族などを支える体制をつくらせられているが、「看取り士」や「かかりつけ訪問看護」は、そのチームメンバーとなるのか。

**答** メンバー構成は、その時々で変わります。まずは関係者がACPやDNARなど、関連の仕組みや制度について理解すること、そして、共通意識を持ち、本人の希望に寄り添うことができる体制をつくる必要と感じていきます。

**問** 障がい者の65歳問題において、障がい・介護サービス両分野を熟知している相談員が少ないことが、サービス移行の課題と感じるが、問題解決に向け、どのように考えるか。

**答** 別府市障害者自立支援協議会実務担当者会議の「介護支援専門員との連携を考える分科会」において、現状の課題を検討しています。また、相談支援専門員及び介護支援専門員の会合等で、双方のサービスの研修会を開催し、相互理解を深めていきます。

**亀川地区都市再生整備計画事業**

自民クラブ

河野 数則 議員



**問** 亀陽泉周辺整備及び亀川駅西口駅前広場整備の進捗状況について聞きたい。

**答** 亀陽泉周辺整備におきましては、道路及び踏切の拡幅工事、駐車場やポケットパーク整備が完成しています。亀川駅西口駅前広場整備におきましては、乗用車による利用が可能なロータリーが完成しています。

**問** 亀川駅西口駅前広場と併せて整備している都市計画道路山田関の江線について進捗状況を聞きたい。

**答** 都市計画道路山田関の江線につきましては平成30年度末の進捗率は事業費ベースで約53%となっております。今後とも用地補償の対象となる地権者との交渉及び契約を行っていきます。

**問** 消防署亀川出張所の建て替えについて、現在の進捗状況と完成時期はいつ頃の予定か。

**答** 消防署亀川出張所につきましては、平成30年度、31年度の2箇年で建て替えを行っていますが、これまでの庁舎の解体工事終了後、引き続き新築工事に着手し、来年度2月末に完成、3月より供用を開始する予定です。

**問** 亀川地区には近年高層の建物が建設されてきており、将来的にはしご車を配備していくべきと思うが、いかがか。

**答** はしご車につきましては、中高層建物の火災活動

救助活動に備えて、現在、本署及び浜町出張所に各1台配備しています。亀川地区にも高層の建物が増えてきている状況であり、今後の都市構造の推移をみながら必要性を判断していききたいと思えます。



**子どもの貧困問題、観光客のおもてなし、制服リユース**

市民クラブ

三重 忠昭 議員



**問** 子どもの貧困問題について、別府市の子どもたちを取り巻く環境、子育て世帯の状況など、別府独自の計画策定を立てるにあたって、生活実態調査が必要と考えるが。

**答** 調査により、実態等を踏まえ、関係する行政機関が連携し、実態に即した総合的な支援体制を整備することが必要であり、大分県と連携して効果的な実態調査に取り組んでいきます。

**問** 貧困対策のための計画策定についてはどのように考えているか。

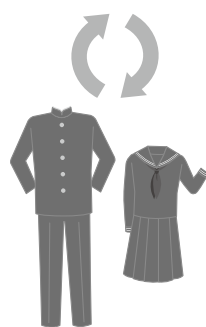
**答** さらに対策を総合的に推進するため、基本的な指針の規定が必要であり、貧困対策に関する計画策定や福祉部局の関連計画に盛り込むことも視野に入れ、協議を進めていきます。

**問** 市が管理する公衆トイレにおいて、性的少数者へ配慮したトイレの整備の現状はどうなっているか。

**答** みんなのトイレとして使用意図を問わず、誰でも利用できるよう絵文字の掲示やユニバーサルデザイン化の推進について関係課と連携していきます。

**問** 別府市リサイクル情報センターが取り組んでいる制服リユース事業は大変素晴らしいと考えるが、今後の計画は。

**答** PTA連合会・PTA母親部会の協力を得て充実させていきます。



**各種証明書のコンビニ発行について**

公明党

穴井 宏二 議員



**問** コンビニにおける各種証明書の発行は国としても推奨している。これはマイナンバーカードの普及率向上という目的もあると思うが、住民サービスの向上にもつながる。休日や時間外に市役所に行けない住民にとっては、使いやすいシステムであるが、マイナンバーカードの普及率は、また、県

内で各種証明書のコンビニ交付を導入している自治体はどのくらいあるのか。

**答** 平成31年2月現在でマイナンバーカードの交付率は、大分県11・61%、別府市11・12%となっております。また、県内でコンビニ交付をしている自治体は、大分市、中津市、日田市、佐伯市、国東市の5市となっております。

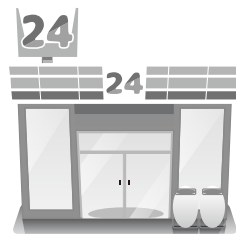
**問** 証明書のコンビニにおける交付のメリットについては、どのように考えているのか。

**答** 各種証明書のコンビニ交付のメリットとしては、年末年始を除き、市町村の閉庁時である早朝6時から深夜23時まで、土日祝日も証明書を取得することができ、また、住民票のある市町村にかかわらず、最寄りのコンビニで証明書を取得できる住民の利便性の向上や窓口業務の負担軽減があげられるのではないかと考えられます。

**問** 証明書のコンビニ交付のメリットは大きい。市民

の生活の利便性向上のためには是非進めてもらいたい。

**答** コンビニ交付導入には、多額のインシャルコストがかかることから、窓口業務のあり方、公民館、出張所など様々な課題を整理しながら、引き続き慎重に検討を進めたいと考えています。



### 期日前投票所の増設について

公明党

堀本 博行 議員  
ほりもと ひろゆき



**問** 期日前投票制度は、平成15年12月から施行されて以来、着実に投票率を伸ばしてきている。全国的には、有権者数からみると2割程

度であるが、投票者数からみると都道府県別では、50%を超えている県もある。ちなみに、大分県は全国4位で47・4%である。また、今回は18歳選挙権が施行されて、初めての統一地方選挙でもあることから、高校、大学での期日前投票を実施する自治体も増えている。また、大分県下の14市の中でも、出張所での期日前投票を実施していないのは、別府市だけである。せめて、3つの出張所での実施を早急に検討してもらいたいと思いますが、どうか。

**答** 選挙人の利便性の向上や投票の機会の創出につながるかと考えます。一方で、開設するためのスペース、運営にかかる予算の確保、事務従事者の確保などが必要になります。よって、関係各課と協議しながら、調査、研究をしていきたいと考えています。



## 「市民と議会との対話集会」

平成30年度「市民と議会との対話集会」において、各団体との協議のなかで出てきた重要と認められる事項について、市長へ要望書を提出し、対応を求めました。

### 要望事項

#### 別府市消防団

近年の社会構造の変化は消防団員の確保と活動に大きな影響を及ぼしており、喫緊の課題となっている。入団しやすく、活動しやすい消防団となるよう早急な環境整備を要望する。

#### 立命館アジア太平洋大学

立命館アジア太平洋大学へは交通等の利便性が悪く、バスの運賃も高い。増便や運賃の見直しなどについて、バス事業者等との検討を要望する。

#### 太陽の家

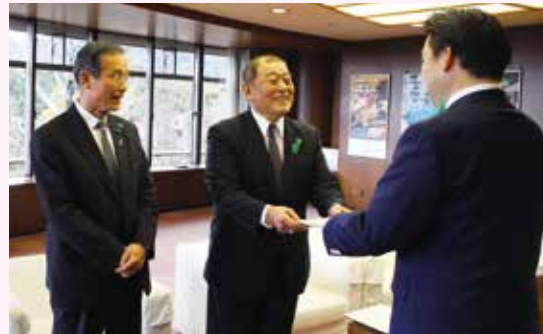
障がい者に適した環境整備や交通の利便性向上を図るため、バリアフリー住宅の建設推進と、低床バスやリフト付バス等の増便についてバス事業者等との検討を要望する。

今回、要望に対し、市から回答がありましたので、広報広聴委員会委員長より各団体に報告を行いました。なお、要望書の回答については、別府市議会ホームページで公開しています。



## 別府市議会政策研究会活動報告

別府市議会では、市政に関する重要な政策及び課題研究を行うことを目的に「別府市議会政策研究会」を設置しています。平成29年9月6日に全体会議を開催し、研究する政策課題を「別府市の温泉行政の課題と今後の対応について」に決定しました。その後、関係機関等から状況聴取を行い、また研修会や講演会を実施するなど、地熱発電開発に伴う諸課題について、調査・研究を重ねてきました。その結果、温泉資源の持続可能な利用の確保のため、有効な施策を継続するよう市長及び大分県知事に対し、政策提言を行いました。



### 政策提言の概要

- ・地熱発電開発による地下水及び地熱の減少が懸念される。「特別保護地域」のエリア拡大を求めるとともに、引き続き温泉資源保護のための施策を講ずること。
- ・温泉資源の涵養について、専門的見地からの検討や有効な条例化等についても併せて検討すること。
- ・上記の取り組みを実施するため、温泉資源量や利用実態の調査に係る予算を確保すること。
- ・地熱発電開発に伴う地域住民の生活環境の悪化を防ぐとともに、開発事業者との係争が生じないよう対策を講ずること。

※政策研究会の政策提言等の詳細は、別府市議会ホームページで公開しています。

### 別府市議会ホームページのご案内

ホームページでは、市議会議員の紹介、議会中継、議事録の検索、「市民と議会との対話集会」の報告など多くの情報を掲載していますので、是非ご覧ください。

<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネットによる本会議の放送を行っています。さらに、6月議会からは、スマートフォン、タブレット端末でも本会議の生中継と録画中継をご覧いただけるようになります。

いつでもどこでも  
議会中継を  
視聴できます

議会を  
もっと身近に！



平成31年第1回定例会は、節目の議会。同27年に当選した議員の4年任期最後の議会であり、最終日に、今議会を最後に勇退する議員諸氏には在職中の思い出等を語っていただきました。一方、4月の選挙は立候補を予定する現職者にとつて、4年間の議員活動に対する厳粛な審判です。各人の一抹の不安と緊張と覚悟が漂う議会となりました。そして、平成時代30年余の最後の議会でもありました。歴代の市長・執行部と先輩議員たちが、衆智を集めて市の将来像や課題解決に議論を交わした30年間。議会録の蔵書庫にまた新しい1冊が加わり、平成から次の時代に、大きな節目の議会となりました。

4月は、新元号が発表され、105回目の別府八湯温泉まつりが開幕。5月1日は、「令和」に改元を迎えます。平成31年の春は節目に満ちています。

平成31年4月29日

広報広聴委員会

委員長 荒金 卓雄



編集後記